

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
ヘルスケア産業創出事業 会員向け健康診断等の実施	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
事業の目標			6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
高齢化・人口増等に伴う医療提供不足対策として新たな商品・サービス開発に向け、産学連携を推進 会員事業所従業員等の健康・福利厚生に寄与			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
市民並びに会員事業者及び従業員	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
1.慶應義塾大学医学部、埼玉大学、浦和大学、人間総合科学大学、目白大学 2.PET検診=済生会川口総合病院と業務提携			
取組の内容			
1.ヘルスケア産業創出事業 さいたま市が抱えている高齢化・人口増などに伴う医療供給不足対策として、在宅・介護の質の向上や健康予防など、介護現場などの課題やニーズを把握し、エビデンスに基づいた新たな商品・サービスの開発に向け、ヘルスケア産業創出委員会の各ワーキンググループにて元気な地域経済・地域社会の実現を図るべく事業を行った 2.市内4地域(浦和・大宮・中央・岩槻)で会員事業所従業員などに向けた健康診断などを実施 (1)一般定期健康診断(4地域)、生活習慣病検診(岩槻地域)、人間ドック(浦和・大宮・中央地域)を年1回、当所が指定する受信機関にて実施 (2)PET検診優待サービス 3.メンタルヘルス・マネジメント検定試験の施行を通じたメンタルヘルス対策の普及促進			
取組の成果			
1.医療・看護・介護現場等の課題解決に向けた機器開発プロジェクトの推進 「ナト・カリ」調味料を使用した適塩商品の開発を推進、減塩商品を扱う企業の普及拡大と市民への周知啓発を行った。 2.安衛法、安衛則に基づき、事業主に義務付けられている法定検診について事業主の負担を軽減し、併せて人間ドックなどの受診を促すことにより、傷病の早期発見・治療につながっている。 3.メンタルヘルス対策の普及促進をするうえで、事業者の取り組みのひとつとして企業を通じての受験者が毎年増えている。			

平成30年度 ヘルスプラン21(第2次)に関する事業の取組事例(さいたま市4医師会連絡協議会)

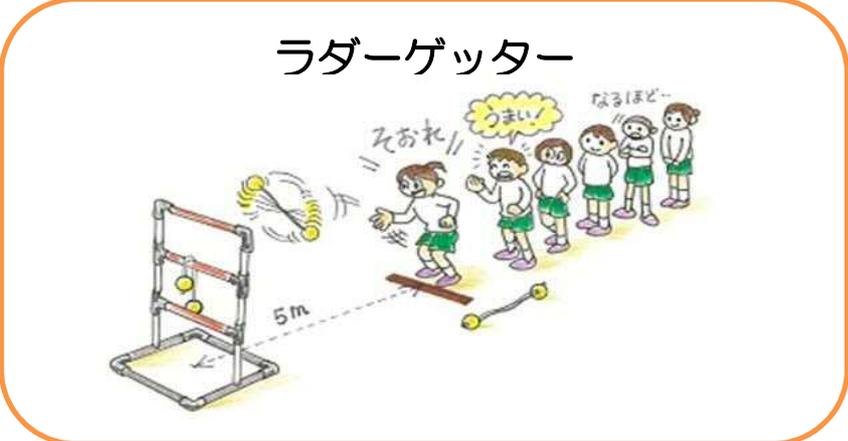
事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
平成30年度さいたま市成人保健事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
各種がん検診・特定健診を通して、疾病の早期発見・治療に努め、メタボリックシンドローム該当者に特定保健指導を実施し、疾病の重症化を減らす。			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
さいたま市民(各検診・健診ごとに対象者の年齢・性別の違いあり。)	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市4医師会、さいたま市国民健康保険課、年金医療課、さいたま市保健所地域保健支援課			
取組の内容			
<p>1. 女性のヘルスチェック(平成31年3月31日時点で18歳～39歳の女性)</p> <p>2. 前立腺がん検診(平成31年3月31日時点で50歳～80歳の男性)</p> <p>3. 肝炎ウイルス検診(平成31年3月31日時点で40歳以上で前年度以前に検診を受けたことのない方)</p> <p>4. 骨粗しょう症健診(平成31年3月31日時点で40歳、45歳及び50歳～80歳の女性で前年度未受診の方)</p> <p>5. 胃がん検診(平成31年3月31日時点で40歳以上の方)</p> <p>6. 大腸がん検診(平成31年3月31日時点で40歳以上の方)</p> <p>7. 肺がん・結核検診(平成31年3月31日時点で40歳以上の方)</p> <p>8. 乳がん検診(平成31年3月31日時点で40歳以上の女性で前年度未受診の方)</p> <p>9. 子宮がん検診(平成31年3月31日時点で20歳以上の女性、40歳以上は前年度未受診の方、子宮体がん検診は40歳以上の方)</p> <p>10. 特定健診</p> <p>1)さいたま市国保特定健診(さいたま市国民健康保険に加入している本人、家族で平成31年3月末現在で40歳～74歳の方)</p> <p>2)後期高齢者健診(さいたま市在住で75歳以上の者および心身障害者で65～74歳で後期高齢者医療制度に加入している方)</p> <p>3)さいたま市国保健診(さいたま市国民健康保険に加入している本人、家族で平成31年3月末現在で35歳～39歳の男性)</p> <p>11. 特定保健指導(動機付け支援) メタボリックシンドローム該当者 健診結果説明時に実施。</p>			
取組の成果			
<p>・上記2、5、6、7では早期発見により、早期治療につながり、延命に貢献した。11では、保健指導を実施することにより、対象者の体重、BMIに改善を認め、服薬開始時期の遅延に繋がった。</p> <p>・検診・健診の未受診者への受診勧奨などをすすめた結果、受診率の向上の傾向がある。</p>			

平成30年度 ヘルスプラン21(第2次)に関する事業の取組事例(さいたま市歯科医師会)

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
①市民フォーラム ②口腔がん検診 ③市民公開講座	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
①③さいたま市民が口腔の健康について学ぶことができる。			
②市民に検診を受け、早期発見を図ることで早期に治療をうながす。			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
さいたま市民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
与野歯科医師会、東京歯科大学口腔外科、大宮歯科医師会、明海大学歯学部口腔外科			
取組の内容			
<p>1:市民フォーラム(与野歯科医師会) 平成30年7月29日(日) いつまでも元気にカムカム ~あなたの健康はお口で決まる~</p> <p>2:口腔がん検診(大宮歯科医師会)</p> <p>3:市民公開講座(大宮歯科医師会)</p>			
取組の成果			
毎年継続している事業であり、今後も市民に口腔の健康について啓発を行っていくことが重要だと考えております。			

平成30年度 ヘルスプラン21(第2次)に関する事業の取組事例(一般社団法人さいたま市薬剤師会)

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
(Ⅰ)第7回薬物乱用防止キャンペーン (Ⅱ)第8回市民公開講座 (Ⅲ)第6回政令市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン (Ⅳ)各区区民まつりブース参加	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		8 節度ある飲酒と未成年者の飲酒防止
健康に関するさまざまな情報を整理し、正しい知識を持って頂くこと			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
一般市民、応募市民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市保健福祉局、埼玉県警、JR			
取組の内容			
<p>(Ⅰ)薬物乱用防止キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年6月3日 ・場所 浦和駅東口駅前広場 ・内容 キッズ調剤、血圧測定、アルコールパッチテスト、啓蒙チラシ配布、違法薬物見本展示 <p>(Ⅱ)市民公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年7月1日 ・場所 ロイヤルパインズホテル ・内容 「地域緩和ケアに求められていること」さいたま市立病院院長 窪地 淳先生、劇団にしくによる寸劇 <p>(Ⅲ)全国政令市薬剤師会同日開催 薬物乱用防止キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年7月21日 ・場所 さいたま新都心東西通路 ・内容 市薬剤師会会員約100名参加により啓蒙チラシ・パッケージうちわ5,140名分を配布 <p>(Ⅳ)各区区民まつりブース参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年10月6日から ・内容 健康相談、血圧測定、アルコールパッチテスト、キッズ調剤 			
取組の成果			
<p>(Ⅰ)(Ⅲ)大勢の市民の方に薬物乱用の恐さの認識とご家庭に持ち帰って話題の1つにして頂けたのではないのでしょうか</p> <p>(Ⅱ)これからの高齢化社会における地域医療のあり方について知っておくことは、我が身に起こった時に不安解消になる。劇団にしくの寸劇は理解しやすく役に立ったという声多数</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
レクリエーションを通じた健康・体づくりの普及	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
・仲間づくり ・体を動かして、健康・体づくり			
事業の対象者			単年度事業・継続事業
一般市民、加盟団体、会員、家族			継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
開催市・区、自治会、小・中学校等			
取組の内容			
<ol style="list-style-type: none"> 各団体・クラブごとに練習会を毎週1回以上開催 団体内の競技会や指導者養成・後任資格取得試験会を開催 他府県のレクリエーション関係団体との交流・親善大会を開催 地域団体、各学校等における教室・講習会を開催 役員会、総会を開催 広報紙を発行・配布 			
 <p style="text-align: center;">ラダーゲッター</p>			
取組の成果			
<ol style="list-style-type: none"> 年々加盟団体・会員が増加している ニュースポーツを楽しむことを通じて健康づくりを普及 各地域で大会を開催し健康づくりを普及 			

30年度 ヘルスプラン21(第2次)に関する事業の取組事例(さいたま市保健愛育会)

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
・母子の健康と育児に関する事業 (子育て支援事業) ・高齢社会に対する声かけ・見守り事業 ・さいたま市への保健事業協力	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
スローガン 1. 愛の一声、健康づくりを広めましょう 2. 健やかな子を育て、明るい家庭づくりをひろめましょう 3. 住みよいふるさと、長寿社会づくりを広めましょう			6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消 7 受動喫煙の防止と禁煙
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
各区の母子・高齢者・地域住民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
保健所・各区保健センター・自治会・社会福祉協議会・健康づくり事業団			
取組の内容			
<p>地域の母子保健と高齢者福祉の向上、地域住民の健康推進活動を目的に、6区9地区で活動している。</p> <p>全体研修</p> <p>1. 講演「健康こそ人生最高の宝」 講師 医療法人眞美会 麻見江ホスピタル 理事長 馬場 眞美子氏</p> <p>2 テーマ フリーボックスの作成 講師 さいたま市保健愛育会大久保地区</p> <p>地区自主事業</p> <p>・子育て支援事業 親子支援活動 三世代交流 訪問活動 (赤ちゃんの健全な発育のための健診の推奨と親子の孤立防止等)</p> <p>・高齢者やひとり暮らしの方への支援 声かけ ふれあい会食 介護予防体操 健康体操 おしゃべりサロン 歌ごえ喫茶</p> <p>・禁煙の推奨 周辺での喫煙に対し、身体への影響などを話し、禁煙協力を呼びかける</p> <p>行政協力・協働事業</p> <p>・各区の保健事業の協力 育児相談 ふたごの集い 親子教室 育児学級 生活習慣病予防教室</p> <p>・結核予防パンフレットの配布</p>			
取組の成果			
<p>子育て支援について、親子支援活動や三世代交流を行うことで、孤立しがちな子育て中の母親が悩みを解決できたり、地域とつながるきっかけになったと考える。</p> <p>健康づくりについて、各地区の問題を少しでも解決できるよう、研修で得た知識を活かして班員たちが自主性を持って取り組む中で、事業参加者の健康に対する意識が高まり、健康づくりを広めることができた。参加者からの感謝の言葉が次の活動の原動力となるとともに、班員自身の健康増進にも繋がっている。</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標
JAの総合事業機能を活かした健康づくり	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	
健康づくりに係るイベントを実施し 地元住民・役職員等の健康の保持増進を図る		
事業の対象者		単年度事業・継続事業
組合員、女性部員、共済友の会会員、年金友の会会員、地域住民、JAさいたま役職員		継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
埼玉県農協健康保険組合、JA埼玉県中央会、新久喜総合病院、熊谷総合病院 等		
取組の内容	対象者	
<p>定期健康診断 被扶養者特定健診 産業医による個別健康教育 インフルエンザ予防接種 農業従事者検診 生活習慣病検診 女性部歩け歩け運動 JAさいたま旗争奪少年野球大会 年金友の会グラウンドゴルフ大会 年金友の会ゲートボール大会 女性部グラウンドゴルフ大会 ミニデイサービス 女性のための健康講座 人間ドック受診費用の助成 親子サッカー教室 少年少女野球教室</p>	<p>少年野球大会</p>  <p>対象者</p> <p>役職員・パート 40歳以上の被扶養者 定期健診によりハイリスク者と診断された役職員 希望者(役職員) 正組合員・女性部員 共済友の会会員 女性部 さいたま市スポーツ少年団小学生軟式野球部 年金友の会会員 年金友の会会員 女性部 組合員等 女性部 40歳以上の健保加入者と、35歳・38歳の被保険者 JAさいたま管内在住の方(年中～小2) JAさいたま管内在住の少年少女(高校生まで)</p> <p>グラウンドゴルフ大会</p>  <p>少年少女野球教室</p>  <p>親子サッカー教室</p> 	
取組の成果		
<p>・地域住民とのイベント(歩け歩け運動、ミニデイサービス、野球大会、サッカー教室等)を開催し、体を動かすことによる健康の保持増進を図ると共に、地域の活性化に貢献しました。</p> <p>・インフルエンザ予防接種を組合の本支店で実施することにより、受診率の向上に繋がりました。</p> <p>・健康診断結果を基に役職員に対し産業医面談を行い、医療機関受診の意味を再認識することにより、早期の疾病対策を図ることが出来ました。</p>		<p>歩け歩け運動</p> 

事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
さいたま市食生活改善推進員協議会	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
「私達の健康は私たちの手で」をスローガンに健康づくりの学習をし、食を通して地域において幼児から高齢者まで、幅広い年齢層に対して食育活動を推進する			
事業の対象者			単年度事業・継続事業
食生活改善推進員(ヘルスマイト)及び年齢を問わない市民			継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県・さいたま市・日本食生活協会・公民館・学校			
取組の内容			
<p>1. 10区合同研修会、各支部リーダー研修会、各区会員研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休養、心の健康づくり講演 ・栄養士による講義指導、調理実習 <p>2. 埼玉省委託事業・・・米料理教室</p> <p>3. 日本食生活協会委託事業・・・生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ</p> <p>4. 保健センター事業等への協力・・・親子食育講座「野菜パクパク元気教室」等</p> <p>5. 食育推進事業・・・10区すべてで実施 内容は、各区の状況に応じて生活習慣病予防教室、親子料理教室、高齢者の食事、視覚障がい者健康づくり教室等</p> <p>6. 各地域では、文化祭の協力、健康イベント開催協力、高齢者ふれあい会食、夏休み子供クッキング 小学校土曜チャレンジスクール、親子食育教室、男性料理教室、手作りみそなど各種健康教育を実施</p>			
取組の成果			
<p>食べ物は満ち溢れていますが、社会の変化や様々な事情から日々の食生活がおろそかになりがちの人が多く、各種事業に参加したことで食生活の見直しにつながったという感想を頂いた。 親子や子供向けの事業に参加した若い人たちが、食べることへの興味、関心を持つことに繋がった。また高齢者においては、低栄養など食に対する意識を高めることができた。</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
在宅保健師等による支援事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
事業の目標			4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
・特定保健指導の利用率向上 ・食生活の改善や運動の習慣化による生活習慣病予防			
事業の対象者			単年度事業・継続事業
さいたま市民			単年度事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県在宅保健活動者の会「青空会」			
取組の内容			
<p>埼玉県在宅保健活動者の会「青空会」の会員(保健師)を派遣し、さいたま市が行う保健事業の円滑な実施を支援した。 具体的な支援内容は、以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特定保健指導対象者への電話による利用勧奨 2 健康教室(運動指導、身体・栄養・歯科講座、グループワーク等)における、教室運営・保育補助、参加者の健康チェック及び健康相談 3 健康まつりでの健康測定機器による測定、結果説明、健康相談及び健康啓発事業 			
取組の成果			
<p>・経験豊富な会員が電話による特定保健指導の利用勧奨を行うことにより、対象者の意識の向上へと繋がった。 ・マンパワーの提供により、スムーズな健康教室等の運営ができた。</p>			

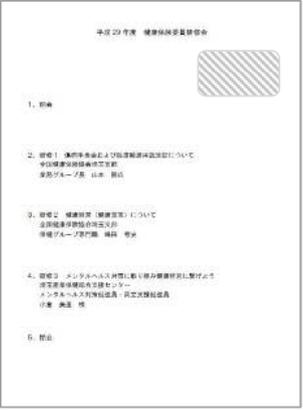
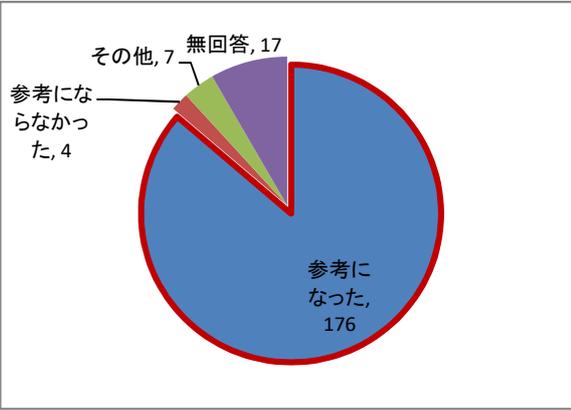
事業名	重点目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進	
「健康年齢」®を活用した特定健診受診勧奨	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標	
事業の目標			
特定健診受診率の向上	協会けんぽ埼玉支部 対外事業		
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
協会けんぽ加入被扶養者		継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県医師会			
取組の内容			
「健康年齢」®とは、株式会社JMDCが開発した健康度をわかりやすく示した指標(健康実年齢)のことで、健康診断の結果項目から算出することができる。 実年齢との差を示すことで、特定健診受診への行動を促す。 具体的には、過去の健診受診結果より健康年齢を算出。特定健診受診を案内するリーフレットに、「健康年齢」に加え対象者近隣の受診可医療機関を掲載し、対象者へ送付する。			
リーフレット(外面) 	リーフレット(内面) 		
取組の成果			
特定健診受診率が向上するなど一定の効果があったと評価。ただし、「健康年齢」掲載による効果なのか、単にリーフレットが届いたことによる効果なのかまだ不透明な部分もあるため、引き続き事業を継続のうえ、事業評価を検討したい。			

事業名 「スモールチェンジ活動」の推進	重点目標 I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成	
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり			
個人の健康意識の向上を図り、「スモールチェンジ活動」を実施することにより、将来的に生活習慣病の予防や健康増進を図ることが目標	協会けんぽ埼玉支部 対外事業 ○		協会けんぽ埼玉支部 組織内部事業 ○	
事業の対象者			単年度事業・継続事業	
協会けんぽ加入者			継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
早稲田大学				
取組の内容				
「スモールチェンジ活動」は、早稲田大学応用健康科学研究室の竹中教授が推進する活動で、一大決心が必要な大きなことを行うのではなく、取り組みやすいスモールな健康行動を「始める・続ける・増やす」ことにより、結果的に生活習慣病の予防や健康増進等のラージチェンジにつなげる取り組み。 主に、「健康経営」に積極的に取り組んでいる協会けんぽ加入事業所を対象に実施している。 なお、平成30年7月には早稲田大学と共同研究契約を締結。スモールチェンジ活動等に関して連携して事業を実施。				
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="268 1211 839 1626"> <p>スモールチェンジ活動とこころのABC活動にかかる早稲田大学との連携</p> <p>＜目的＞ 健康宣言事業に、協会けんぽと連携してスモールチェンジ活動やこころのABC活動(以下、「スモールチェンジ活動等」という。)を実施してもらい、各従業員の健康意識を向上させることで、健康経営の促進と効果向上につなげる。「スモールチェンジ活動」は、早稲田大学応用健康科学研究室の竹中教授が推進する活動で、一大決心が必要な大きなことを行うのではなく、取り組みやすいスモールな健康行動を「始める・続ける・増やす」ことにより、結果的に生活習慣病の予防や健康増進等のラージチェンジにつなげる取り組み。</p> <p>＜流れ＞ ①共同研究契約締結 ②早稲田大学が指導用教材および情報紙を提供 ③協会けんぽが受領希望者(協力企業)を公募 ④協会けんぽが情報紙や情報提供してモニタリングを実施 ⑤モニタリング結果や情報紙への評価等を早稲田大学と共有 ⑥早稲田大学がモニタリング結果・評価を分析</p> <p>※10社～20社程度、1,000人～2,000人が参加することを想定</p> </div> <div data-bbox="916 1218 1198 1608"> <p>健康的な健康づくりを促進して!</p> <p>わたしのスモールチェンジ目標</p> <p>(例) ・毎日ラジオ体操、ウォーキング等で体を動かす。 ・缶コーヒーはブラックがメインに変更する。 ・食事は野菜から先に食べる。 ・情報紙を読む。 ・甘いものを減らす。 ・エレベーターを使わない。(途中から階段使用) など</p> <p>～簡単に達成できる目標にしましょう。～</p> <p>氏名 _____</p> <p>わたしの目標 _____</p> <p>提出日時: 年 月 日</p> </div> </div>				
取組の成果				
(対外事業) 健康宣言事業所を中心に実施している。実施事業所(従業員)における、医療費の削減や健診結果数値の改善など見える化する効果測定はできていないが、個人の健康に対する意識の高まりは向上しているとみられる。引き続き、取組みを実施いただき、今後その効果を早稲田大学と共同で実施していきたい。				
(内部事業) 協会けんぽ埼玉支部職員も対象に平成29年度から継続して取り組んでいる。通勤の際は積極的に階段を使用したり、食生活ではケーキなどの甘いものを控えるなど、協会けんぽ職員自身のヘルスリテラシー向上が図られている。				

事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進	
糖尿病重症化予防プログラム(埼玉県方式)の実施	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得			
事業の目標				
生活習慣病(糖尿病)の重症化予防(人工透析移行者の減少)	協会けんぽ埼玉支部 対外事業		協会けんぽ埼玉支部 組織内部事業	
事業の対象者		単年度事業・継続事業		
協会けんぽ加入者のうち、健診結果&医療費情報から糖尿病未治療者・ハイリスク者		継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
埼玉県、埼玉県医師会、郡市医師会				
取組の内容				
<p>■未治療者への受診勧奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診結果から糖尿病リスクが高いが医療機関を受診していない者に対して文書による受診勧奨を実施 ・より重症域にリスクがある者については、2次勧奨(文書)を実施。なお、2次勧奨文書には、GIS(地理情報システム)を活用して、対象者の近隣受診可能医療機関を掲載。 <p>■ハイリスク者への重症化予防プログラム参加勧奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診結果および医療費情報から、糖尿病Ⅱ～Ⅳ期に属しかかりつけ医からの同意を得られた者を対象に、重症化予防プログラム(6か月間の保健指導)を実施 ・プログラム実施にあたり、埼玉県医師会および郡市医師会と事業説明等、調整行った。埼玉県全体として取り組む事業として理解を共有。あわせて、県内かかりつけ医に対して事業協力等に関するアンケートを実施。1,019医療機関に協力可の回答をいただいた。 <p>■糖尿病治療中断者への受診勧奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプトデータから、過去1年以内に、糖尿病の治療を中断したと思われる者を対象に、平成30年9月末に文書による受診勧奨を実施。 				
取組の成果				
<p>糖尿病重症化予防プログラムにおいては、平成29年度参加者50名、平成30年度においては69名まで参加いただいております。かかりつけ医等の協力のもと着実に実施されてきている。参加者のさらなる増加が今後の課題である。未治療者への受診勧奨は、勧奨による受診率9.0%(平成29年度)という状況であるが、引き続き送付文書内容の見直し等を行いながら継続実施していきたい。</p> <p>プログラム参加者増加や受診勧奨による治療者増加が、今後の医療費抑制や人工透析移行者減少に着実に貢献されていくよう、その効果測定もあわせて実施していきたい。</p> <p>当事業を介して、埼玉県医師会や郡市医師会との連携強化、かかりつけ医との関係構築ができています。協会けんぽとしては、今後もさらに連携を深め糖尿病重症化予防プログラムの理解を広げていくことで参加者増加を図りたい。</p>				

事業名	重点目標	7 受動喫煙の防止と禁煙	
協会けんぽ埼玉支部「禁煙チャレンジ制度」	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標	
事業の目標			
喫煙率の減少 (職域における健康づくり意識の醸成・「健康経営」取組サポート)	協会けんぽ埼玉支部 対外事業		
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
協会けんぽ加入者	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容			
<p>・禁煙を開始する者から協会けんぽに禁煙チャレンジ参加申込を行う。</p> <p>・申し込みには、応援者(サポーター)の登録も必須とする。見つからない場合は「協会けんぽ埼玉支部」をサポーターとすることも可能。</p> <p>・チャレンジ期間中は、定期的に協会けんぽから禁煙に関する情報提供を行う。</p> <p>・サポーターにはチャレンジ開始から3か月経過後、禁煙成功の承認も行っていただく。</p> <p>・3か月の禁煙が成功した場合は、チャレンジした本人およびサポーターに認定証・感謝状を交付する。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>応援者(サポーター)について</p> <p>禁煙を達成するには、禁煙者本人の意識に大きな影響を与える「生活(人)環境」を整えることが重要。周りに禁煙支援者がいるかどうかで、禁煙率に大きな影響を与えるという結果も出ている。</p> <p>① 応援者(サポーター)には、禁煙対象者が喫煙しなくなった場合に一声かけるなどの、日常生活における禁煙サポートをしていただく。</p> <p>② 応援者(サポーター)は、会社の同僚や家族など、普段一緒に過ごす時間がある人であれば誰でも可とする。若しくは「事業主」でも可。 ※協会けんぽ加入者でなくても構わない。 ※複数人の登録でも可。(1人～3人程度を想定)</p> <p>③ 禁煙対象者が、禁煙を達成した場合に、禁煙成功の承認(署名)を行う。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			
取組の成果			
<p>(対外事業)</p> <p>平成30年8月27日から制度開始して、現時点で5名の加入者に参加いただいている。まだ、参加者が少ない状況であるため、成果はこれからであるが、まずは参加者を増加させることに注力したい。主に健康経営に取り組んでいる事業所を中心に参加勧奨を行っている。</p> <p>健康経営の普及推進とあわせて、禁煙の取り組みが加速することにより、埼玉県喫煙率減少に寄与するものと考えられる。</p> <p>(内部事業)</p> <p>協会けんぽ埼玉支部職員を対象に、平成30年1月～3月に実施。5名参加し、うち2名が禁煙成功。執務室内では、掲示板に禁煙を標榜し、勤務時間中の喫煙時間は認めないなどのルールを徹底している。</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進	
特定保健指導と料理教室の同時開催	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得			
事業の目標				
・特定保健指導実施率の向上 ・生活習慣病予防の料理作りを学んでもらい、家族全体(被保険者、被扶養者)の正しい食生活の定着	協会けんぽ埼玉支部 対外事業 ○		協会けんぽ埼玉支部 組織内部事業	
事業の対象者		単年度事業・継続事業		
40歳～74歳の協会けんぽ加入被扶養者(女性)の特定保健指導対象者		単年度事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
女子栄養大学				
取組の内容				
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年9月20日に、女子栄養大学坂戸キャンパスにて、特定保健指導(集団指導)と同時に料理教室を実施。参加者27名(男1名、女26名) 平成30年12月6日に、東京ガスキッチンランド浦和(武蔵浦和)にて、同様の料理教室を実施。参加者10名(男0名、女10名) 対象は家族全体の食事作りを担う40歳以上の被扶養者をターゲットとし、減塩を中心とした高血圧対策の料理方法を学んでもらい、生活習慣病予防につなげる。 女子栄養大学に考案いただいた【健康レシピ】を配布。 				
 <p>【女子栄養大学】 参加パンフレット</p>	 <p>【東京ガスキッチンランド浦和】 参加パンフレット</p>	 <p>【女子栄養大学】 料理教室の様子</p>	集団指導	
取組の成果				
<ul style="list-style-type: none"> 「日頃の食生活に対する意識」について「あまり意識していない、意識していない」という対象者が45.8%いたが、特定保健指導と料理教室終了後のアンケートでは「生活習慣病予防を意識して料理をする」「減塩を意識する」「自分の健康のために食生活を改善する」「家族全体の健康のために食生活を改善する」の全てで回答者全員が「とても思う、そう思う」と回答。今後の生活習慣病予防と食生活改善に向けて大きな効果があったと考えられる。 「配布した健康レシピを今後の料理に活用したいですか」の質問に対し、全員が「とても思う、そう思う」と回答した。今回限りの料理ではなく、家庭で日々作る料理に関しても健康レシピを活用してもらうことで、家族全体の生活習慣病予防の食生活定着につながる事が期待される。 				

事業名	重点目標	分野別の目標	6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消	
健康保険委員研修会における健康講話の実施	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得			
事業の目標				
健康保険委員および事業主、またその企業に勤める従業員の健康に対するヘルスリテラシーの向上	協会けんぽ埼玉支部 対外事業 ○	協会けんぽ埼玉支部 組織内部事業		
事業の対象者		単年度事業・継続事業		
健康保険委員 ※健康保険委員とは、協会けんぽ加入事業所で、主として企業内の健康保険事務などの社会保険業務を担当されている職員		継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
埼玉産業保健総合支援センター				
取組の内容				
平成30年1月～3月にかけて、大宮を含む埼玉県内の5地域(大宮、川越、春日部、熊谷、秩父)にて健康保険に関する研修会を開催。 その中で、秩父を除く4会場において、「メンタルヘルス」をテーマに、埼玉産業保健総合支援センターから講師を招いて健康に関する講話も実施した。				
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;">次第</p>  </div> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;">★メンタルヘルス講話は参考になりましたか？(アンケート)</p>  </div> </div>				
取組の成果				
研修会には、総計277名の健康保険委員に参加いただいた。 健康に関する研修会・セミナーのテーマとして、最も要望がある「メンタルヘルス」に関する講習を取り入れたことにより、多くの健康保険委員に、企業におけるメンタルヘルス対策を理解いただくことができた。 また、健康保険委員から、企業の事業主や従業員へ講習内容を周知・伝達いただくことにより、加入者個人へのヘルスリテラシー向上にも寄与することができた。				

事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
「健康経営」の推進	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
事業の目標			5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
健康経営に取り組む企業を埼玉県全体(「オール埼玉」)でサポートする体制の確立。 健康経営に取り組む埼玉県内企業数の増加およびフォローアップの着実な実施。 事業主・従業員(個人)の健康リテラシーの向上	協会けんぽ埼玉支部 対外事業		協会けんぽ埼玉支部 組織内部事業
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
協会けんぽ加入事業所(事業主、健康づくり担当者)	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県、さいたま市			
取組の内容			
<p> ■健康宣言 協会けんぽ埼玉支部加入事業所を対象に「健康宣言」を平成28年12月から開始。事業主が「健康宣言」に申請いただき、企業全体として健康経営に取り組んでもらう。1年後に取組結果を協会けんぽへ報告し、一定以上の取組実施が評価できれば「健康優良企業」として認定するという制度。比較的取組みやすい「STEP1」と、難易度が高い「STEP2」の2段階を用意し、企業の現状にあわせてどちらかからスタートする。宣言事業所の取組み内容等については、ヒアリングを行い、取組をフォローしている。 </p> <p> ■健康経営セミナーの開催 平成30年7月11日に、大宮ソニックシティ小ホールにて開催。参加者数290名。主に事業主や健康づくり担当者に参加いただき、「健康経営」の仕組みや制度、各団体の取組内容や認定制度などについて説明した。 </p> <p> ■さいたま市健康経営企業認定制度との連携 さいたま市においても、平成30年4月より健康経営企業認定制度が開始。協会けんぽ埼玉支部や健康保険組合連合会に属する企業で、保険者の「健康優良企業」認定を受けている市内企業であればさいたま市の認定も受けることができるという仕組みで、さいたま市との制度連携を構築し、健康経営のさらなる普及推進を図った。 </p> <p> ■さいたま市健幸ネットワークへの参画 さいたま市では、市民が「健幸」で元気に暮らしていくため、さいたま市全体で健康づくりについて共に考え学び実践する機会を増やすことを目的に「さいたま健幸ネットワーク」を立ち上げており、定期的にセミナーやウォーキングイベント開催している。協会けんぽ埼玉支部としても、健康づくりに関する包括的連携協定に基づき、本取組に賛同のうえ本ネットワークにおける各種イベントに参加している。 </p> <p> ■健康経営埼玉推進協議会の設立 (運営規定制定日)平成30年9月4日 (協議会の構成)官公庁:埼玉県、さいたま市 医療保険者:協会けんぽ埼玉支部 </p> <p> ■健康経営埼玉推進協議会キックオフミーティング兼勉強会 (開催日)平成30年11月13日(火)15:30~17:00 (参加者) ▼健康経営埼玉推進協議:埼玉県、さいたま市、協会けんぽ埼玉支部 ▼協力事業者(あいうえお順) ・アクサ生命保険株式会社、埼玉県社会保険労務士会、埼玉県中小企業診断協会、住友生命保険相互会社、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社 ※オブザーバー参加:埼玉県信用保証協会 </p> <div data-bbox="1204 1727 1390 1848" style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;">勉強会の様子</p>			

取組の成果

・健康宣言をした事業所は、制度開始から述べ212事業所。うちSTEP1認定事業所が、24事業所。STEP2認定事業所が、5事業所。宣言事業所や認定をした事業所へは訪問して実践状況をヒアリングし、その企業にあわせた取組サポートを行っている。

・さいたま市健幸セミナー第1回(H30.6月)と第2回(H30.10月)に協会けんぽ埼玉支部職員も参加。職員自身のヘルスリテラシー向上を図るとともに、健康経営普及推進を図っていくうえでの知識向上に寄与。また、参加団体との情報共有も行った。

・県内企業に対して、より効果的に健康経営の普及推進を図っていくため、自治体(埼玉県、さいたま市)と保険者(協会けんぽ埼玉支部)が協同し「オール埼玉」の取組みとなるように推進協議会を設立。

・協力事業者は公募により選定。生損保会社に加えて、埼玉県内の中小企業に密接にかかわっている埼玉県社会保険労務士会や埼玉県中小企業診断協会も入っていただき、より確実に健康経営のフォローアップを可能とする体制ができた。

・キックオフミーティング兼勉強会では、「埼玉県」「さいたま市」「協会けんぽ埼玉支部」各々における健康経営の取組や認定制度について説明を行い、協力事業者が統一的な説明ができるよう情報共有を図った。また、当日はテレビ埼玉や埼玉新聞、日本経済新聞等のメディアの取材も入り、新聞記事にも掲載され、埼玉県全体へ広く周知することができた。

・協会けんぽの健康宣言企業数は約200事業所だが、今後は協力事業者による普及推進も進んでいくため、健康経営に取り組む企業の増加が見込まれる。職域における企業の健康経営の推進が進むことにより、運動・食生活・メンタルヘルスなど従業員個人のヘルスリテラシーが向上し、将来的には生活習慣病の予防や医療費の抑制等に繋がる。

事業名	重点目標	7 受動喫煙の防止と禁煙	
受動喫煙防止対策セミナーの開催	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標	
事業の目標			
禁煙・受動喫煙防止対策に取り組む企業の増加 喫煙率の減少	協会けんぽ埼玉支部 対外事業 ○		
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
協会けんぽ加入事業所(事業主、健康づくり担当者)		単年度事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県、日本対がん協会			
取組の内容			
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年8月27日、大宮ソニックシティ小ホールにて「受動喫煙防止対策セミナー」を開催。 参加者171名。主に禁煙に取り組む(これから取り組もうと考えている)企業の担当者等を中心に参加いただいた。 			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="143 1108 236 1133" style="width: 25%;"> 開催案内 </div> <div data-bbox="143 1133 474 1576" style="width: 45%;">  </div> <div data-bbox="654 1133 1077 1422" style="width: 45%;">  </div> <div data-bbox="1077 1146 1193 1173" style="width: 25%;"> 講演の様子 </div> </div>			
取組の成果			
<ul style="list-style-type: none"> 日本対がん協会、日本禁煙学会から講演いただき、喫煙・受動喫煙による健康被害や具体的禁煙取組方法など幅広く説明いただき、参加者からも「参考になった」とアンケートで多数回答いただいた。 健康経営の普及に伴い、禁煙・受動喫煙対策に取り組む企業の増加が見込まれる。 また、健康増進法改正による施設等での禁煙・分煙方法が改定されたことや、2020年東京オリンピックへ向けた環境整備が進められることも含め、職域による企業の禁煙の取組みだけでなく地域(自治体)や国による法整備も進むことによって、埼玉県における禁煙率の減少が見込まれる。 			

事業名	重点目標	分野別の目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進	
「健康レシピ」の作成・配布	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得			
事業の目標				
健康的な食生活の意識醸成	協会けんぽ埼玉支部 対外事業		協会けんぽ埼玉支部 組織内部事業	
事業の対象者		単年度事業・継続事業		
協会けんぽ加入者		継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
女子栄養大学				
取組の内容				
<p>・平成29年4月に女子栄養大学と「埼玉県民健康づくり 女子栄養大学との「埼玉県民健康づくり」の推進に向けた包括的連携に関する協定書」を締結。</p> <p>・包括的連携協定における取組の一環として、「健康レシピ」を作成。生活習慣病予防、リスク改善を食生活からアプローチする手段の一つとして作成した。</p> <p>・レシピは生活習慣病などの疾病(高血圧、糖尿病、脂質異常症、痛風、貧血)ごとに作成し、カロリーや食塩の表示もある。</p> <p>・主に健康経営に取り組んでいる事業所に対して配布をしている。また、特定保健指導と料理教室の同時実施の際にも配布をしている。</p>				
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				
取組の成果				
<p>・特定保健指導時の食事指導において活用している。</p> <p>・健康宣言事業所など、企業内の従業員(おもに主婦層)に周知いただくことにより、職域における社員やその扶養家族に対する健康的な食生活への改善として活用されている。</p> <p>・料理教室のアンケートでは「配布した健康レシピを今後の料理に活用したいですか」の質問に対し、全員が「とても思う、そう思う」と回答した。今回限りの料理ではなく、家庭で日々作る料理に関しても健康レシピを活用してもらうことで、家族全体の生活習慣病予防の食生活定着につながることを期待される。</p>				

事業名	重点目標	分野別の目標 5 積極的な身体活動と運動習慣の形成	
「埼玉県コバトンマイレージ」と「さいたま市健康マイレージ」の推奨	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
ウォーキングを通じた運動意識の醸成 生活習慣病予防のための運動不足解消の動機づけ	協会けんぽ埼玉支部 対外事業	協会けんぽ埼玉支部 組織内部事業	
	○	○	
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
協会けんぽ加入者(主として埼玉県在住者、さいたま市内在住者)			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県、さいたま市			
取組の内容			
・さいたま市とは平成26年5月に、埼玉県とは平成26年11月に、健康づくりの取組み等に関する包括的連携協定を締結。 ・自治体の実施する運動イベント(ウォーキングや歩数マイレージ事業)等に関しては、連携協定に基づき、また職域における健康経営の普及推進を目的として、協会けんぽ加入者に対しても積極的に参加勧奨を行っているところである。			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>さいたま市健康マイレージ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>埼玉県コバトン健康マイレージ</p> </div> </div>			
取組の成果			
(対外事業) ・生活習慣病予防や肥満改善、健康維持には「運動」が非常に重要であり、特定保健指導の運動支援では、自治体の行っている歩数マイレージ事業を積極的に活用している。 ・参加者からは、ポイントを貯める楽しさやランキング形式で知人と競い合っていて楽しんでいるなど、楽しく取り組んでいただいている。 ・「さいたまマーチ」などウォーキングイベントの周知も行っている。 ・健康宣言事業所へも積極的に参加いただくよう従業員に周知いただいております、参加者も着実に増加しています。 (内部事業) 協会けんぽ埼玉支部職員も「さいたま市健康マイレージ」には101名、「埼玉県コバトン健康マイレージ」には77名が参加している。また、東松山市で11月に開催されている「日本スリーデーマーチ」にも多数の支部職員が参加。ウォーキングイベントにも積極的に参加している。			

事業名	重点目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成	
【協会けんぽ埼玉支部職員】健康増進等を目的とした運動企画の開催	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標	
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
・協会けんぽ埼玉支部職員の運動不足解消やコミュニケーション促進 ・支部職員本人や家族のヘルスリテラシー向上	協会けんぽ埼玉支部 対外事業	協会けんぽ埼玉支部 組織内部事業	○
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
協会けんぽ埼玉支部職員とその家族、友人等		継続	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容			
■リレーマラソンへの参加 ・42.195 ^{キロ} を1チーム10名までとして、チームで完走をするという内容のイベント企画へ参加。 ・職員の有志を集い、平成29年度から参加をしている。今年は平成30年10月に味の素スタジアム(調布)にて、サポート(応援)を含む16名の職員が参加した。			
■ハイキングの開催 ・平成30年10月20日に栃木県那須の「三本槍岳」にてハイキングを開催。 ・協会けんぽ埼玉支部長をはじめ、総勢14名の支部職員や知人が参加した。			
			
★リレーマラソンの参加者		★ハイキングの参加者	
取組の成果			
・リレーマラソンへは平成29年から参加しており、若手職員からベテラン職員まで幅広く参加。運動不足の解消およびコミュニケーションの促進が図られた。 ・このような機会がないと運動する機会がない、といった声もあり、積極的にこのような運動イベントへの参加をすることで、職員自身の健康増進にも寄与している。 ・マラソンだけでなくハイキングも企画することで、幅広く職員に参加いただくことができた。他過去にボーリング大会も実施しており、今後も多くの職員が参加いただけるよう継続して運動イベント等の開催を継続したい。			